

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2015

April
No.1038

4月

本別中学校卒業生10000号
表紙 羽生慶斗君



特集

町政執行方針・教育行政執行方針

町民生活に密着し、
夢や希望を持てるまちづくり

夢や希望を持つてまちづくり

3月3日の町議会第1回定例会で、高橋正夫町長が町政執行方針を示しました。平成27年度のまちづくりの方向性について、その概要をお知らせします。



高橋正夫町長

平成27年町議会第1回定例会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方と施策の大綱について申し上げ、町民の皆さんをはじめ議員各位のご支援ご協力をお願いいたします。

私は、就任以来、「まちづくり」はひとづくり」「町民参加による協働のまちづくり」を基本理念に、そして、「まちづくりの重点目標として「協働で安心と活力と夢あふれるまちづくり」を掲げ、創意と活力に満ちたまちづくりが推進できましたことに対し、改めて敬意を表し、深く感謝を申し上げる次第であります。

町政に臨む 基本姿勢

平成27年度の我が国経済は、緊急経済対策等に示された政策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、好循環が更に進展するとともに堅調な民需に支えられた都市部では景気需に支えられる都市部では景気が緩やかに回復しているとしていますが、地方においてはその実感がなく、依然として景気の低迷が深刻化しており、今後の地方財政を取り巻く環境は、厳しい状況が続くものと思われます。

さらに、国の予算編成方針においても、「社会保障」・「社会資本整備」・「地方財政」における歳出の抑制を掲げており、社会保障制度の見直しに加え、TPP問題などが重なり、地域の産業や国民生活への影響が心配されるところであります。



平成26年度本別中央小学校入学式。
次代を担う子供たちが夢や希望を持てる教育環境の充実を図ります

克服、地方創生の推進など喫緊の課題に対して創意工夫し、地域の特性や可能性をしっかりと生かした地方創生に向、全力でこの課題解決に取り組んでいかなければならぬと考えているところであります。

③重要な施策推進の基本的な考え方

①生涯を通じて学び、夢と未来を育むまちづくり

子供たちが将来の夢や希望をしっかりと描き、未来に大きな目標をもつて、生きていく心を育む環境づくりが求められていることから、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒に

以上のことを踏まえ、平成27年度の町政執行にあたっては、第6次本別町総合計画を基調に、予算の重点化・効率化を図る中で、「本別町」の個性と元気が発揮、発信できるよう、併せて、町民生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方で、できる限り有利な財源の確保など、将来に向けた財政基盤の確立に配慮をしたところであります。

本町農業は、国内経済の影響を受けた日宣言の理念のもと、関係機関・団体と連携を図りながら、四つの風事業の推進と教育環境の向上に努めてまいります。

②地域資源を活かした豊かなまちづくり

以上のこと踏まえ、平成27年度の町政執行にあたっては、第6次本別町総合計画を基調に、予算の重点化・効率化を図る中で、「本別町」の個性と元気が発揮、発信できるよう、併せて、町民生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方で、できる限り有利な財源の確保など、将来に向けた財政基盤の確立に配慮をしたところであります。



③ともに支え合い、安心、安全に暮らせるまちづくり

子供たちが将来の夢や希望をしっかりと描き、未来に大きな目標をもつて、生きていく心を育む環境づくりが求められていることから、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒に

次に、畜産振興は、生乳の増産体制の確立のため、搾乳牛の導入および育成牛預託事業による畜産経営の安定を図っています。次に、畜産振興は、生乳の増産体制の確立のため、搾乳牛の導入および育成牛預託事業による畜産経営の安定を図っています。

次に、林業の振興は、造林未済地解消対策に取り組むとともに、民有林の造林経費の軽減を図り、さらには担い手の育成・確保、町有林の整備に努め、健全な森づくりおよび循環型林業の構築を図っています。

次に、環太平洋経済連携協定(TPP)は、これまでに引き続きTPP参加断固反対の姿勢をオール本別で貫いてまいります。

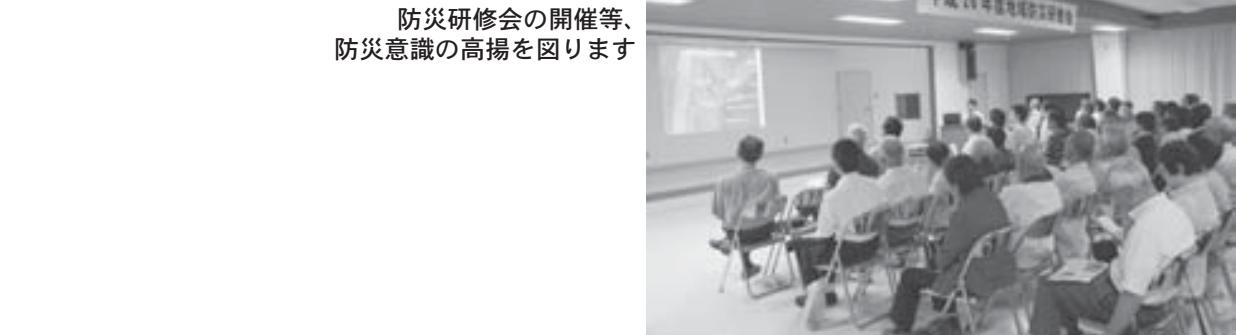
次に、商業は、これまでに引き続き、地域資源や地域の特性を活かし、付加価値を高める取り組みとそれを担う人材育成に努めてまいります。

また、「本別町企業誘致条例」と「起業家支援要綱」による新規開業や新分野での事業活動の取り組みを支援してまいります。

地方財政対策では、本年度も通常収支分と東日本大震災分を区分して整理し、通常収支分については、地方創生、公共施設の老朽化対策、景気回復およびデフレ脱却を前提として、地方の安定的な財政運営に必要な財源を確保するとあります。

しかしながら、これを本町財政の視点で見ますと、地方交付税は、地方財政計画では前年度を下回り、町税収入の増加も見込めず、さらに国・道補助負担金の一般財源化や削減など歳入確保が難しく、他方では、地域経済の活性化や雇用機会の創出、福祉・医療などの地方負担が増加し、行政需要に対する財源不足が生じるなど、厳しい状況にあります。

このような状況下において、政府は昨年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」および経済対策などを決定しました。本町といたしましても人口減少の



防災研修会の開催等、
防災意識の高揚を図ります

④ 快適でやさしさのあるまちづくり

本年度の町道整備は、継続事業で9地区の道路改良・舗装工事および橋梁長寿命化事業を実施してまいります。

交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河線代替バス、生活維持路線バス「浦幌・本別線」、太陽の丘循環バスや町有バスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。

次に、循環型地域社会の推進は、今後も身近な自然エネルギーの活用を図り、新エネルギー・省エネルギー対策の普及活動を推進してまいります。また、現在進めています太陽光発電設置、高齢者住宅改修支援、資金貸し出しへの助成や住宅改修などを総合的にまとめた新たな「仮称）住宅リフォーム制度」の導入を図ってまいります。

次に、水道は、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良質な水を安定的に供給できるよう努力をしてまいります。

下水道は、施設の整備と維持管理に努め、水洗化の促進を図り、浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図つてまいります。

公営住宅の整備は、住環境の



住環境の向上を図るため、
計画的な公営住宅の整備を進めます

向上を図るため「本別町住宅政策推進計画」に基づき実施してまいります。

本年度の町道整備は、継続事業で9地区の道路改良・舗装工事および橋梁長寿命化事業を実施してまいります。

交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河線代替バス、生活維持路線バス「浦幌・本別線」、太陽の丘循環バスや町有バスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。

次に、認知症地域支援推進員や認知症サポート医による認知症の疑いのある人の早期診断・治療体制の充実を図ることとともに、高齢者が活躍できる地域を目指してまいります。

地域包括支援センターでは、医療・介護サービスや生活支援サービス、地域の見守り等切れ目のない支援体制の構築に努めます。

本年度の町道整備は、継続事業で9地区の道路改良・舗装工事および橋梁長寿命化事業を実施してまいります。

交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河線代替バス、生活維持路線バス「浦幌・本別線」、太陽の丘循環バスや町有バスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。

次に、循環型地域社会の推進は、今後も身近な自然エネルギーの活用を図り、新エネルギー・省エネルギー対策の普及活動を推進してまいります。また、現在進めています太陽光発電設置、高齢者住宅改修支援、資金貸し出しへの助成や住宅改修などを総合的にまとめた新たな「仮称）住宅リフォーム制度」の導入を図つてまいります。

次に、水道は、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良質な水を安定的に供給できるよう努力をしてまいります。

下水道は、施設の整備と維持管理に努め、水洗化の促進を図り、浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図つてまいります。

公営住宅の整備は、住環境の

向上を図るため「本別町住宅政策推進計画」に基づき実施してまいります。

地域コミュニティ意識が多様化する社会に対応するため、引き続き協働の視点で、町民の皆さまや企業、団体、学校などと連携し、これまでに培ってきた町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくりを進めます。

次に、行政改革の推進は、市民と行政の協働による「新しい公共」をテーマとした第4次行政改革の推進ならびに第5次行政改革大綱および推進計画の策定を図り、あらゆる事態に公平性に努めてまいります。

次に、行政改革の推進は、市民と行政の協働による「新しい公共」をテーマとした第4次行政改革の推進ならびに第5次行政改革大綱および推進計画の策定を図り、あらゆる事態にも対応できる体力のあるまちづくりを目指します。

地方創生は、府内に設置した「本別町まち・ひと・しごと創生推進本部」を中心に、町民の皆さまや関係団体の意見を聞き

てまいります。また、「自分たちの町のこと

を自分で考えて決めていく」という理念のもと町民、議会、

行政が連携し町政を運営するた

め、自治体における仕組みの基

本ルールを定める自治基本条例の制定に向けた検討を引き続き

います。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

次に、ごみ処理事業の推進は、

地域、町民の皆さまのご協力を

より、ごみの減量化や資源化を

進めています。今後、より一層のリサイクル率の向上を目指してまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーンセンターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「義経の里本別公園」など

の公園施設についても効率的な

維持管理を行い、町民の憩いと

ふれあいの場としての快適な環

境づくりに努めてまいります。

また、近く埋立地が満了となる銀河クリーン

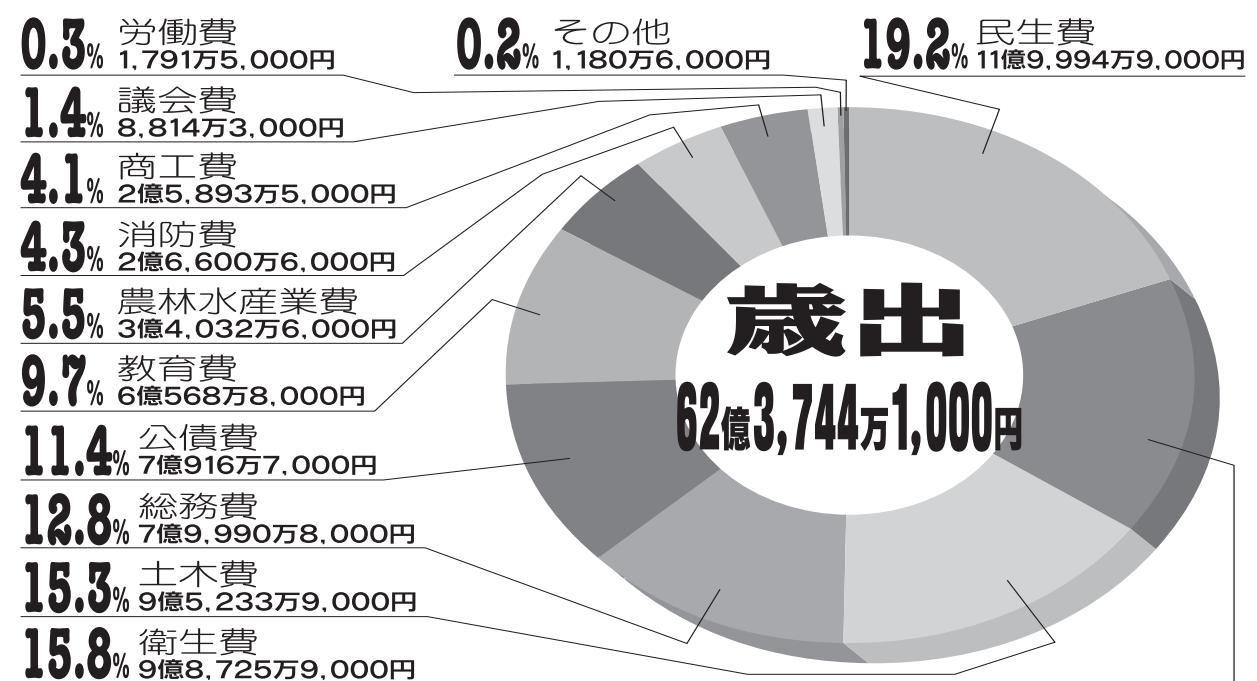
センターに代わる終末処理場の

確保について検討を進めてまい

ります。

は、「

平成27年度 113億9,317万8,000円



各会計別当初予算額

会計区分	本年度A	前年度B	差引(A-B)C	C/B×100
一般会計	62億3,744万1,000円	63億7,556万4,000円	△1億3,812万3,000円	△2.2%
特別会計	国民健康保険	13億4,140万1,000円	12億1,001万8,000円	1億3,138万3,000円 10.9%
	後期高齢者医療	1億1,903万2,000円	1億2,443万8,000円	△540万6,000円 △4.3%
	介護保険事業	9億2,766万5,000円	8億6,807万1,000円	5,959万4,000円 6.9%
	介護サービス事業	2億8,685万3,000円	2億7,110万7,000円	1,574万6,000円 5.8%
	簡易水道	1億4,212万9,000円	1億1,325万4,000円	2,887万5,000円 25.5%
	公共下水道	5億2,389万3,000円	5億2,763万7,000円	△374万4,000円 △0.7%
小計(1)		95億7,841万4,000円	94億9,008万9,000円	8,832万5,000円 0.9%
企業会計	水道事業 収益的取支 支出(2)	1億6,148万1,000円	1億6,110万円	38万1,000円 0.2%
	資本的取支 支出(3)	1億6,148万1,000円	1億6,110万円	38万1,000円 0.2%
	病院事業 収益的取支 支出(4)	9,610万円	8,677万円	933万円 10.8%
	資本的取支 支出(5)	1億5,552万9,000円	1億3,162万7,000円	2,390万2,000円 18.2%
	合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	113億9,317万8,000円	113億4,423万6,000円	4,894万2,000円 0.4%

一般会計 62億3,744万1,000円
特別会計 33億4,097万3,000円
企業会計 18億1,476万4,000円

平成27年度予算編成

平成27年度の予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせて予算総額113億9,317万8,000円となり、前年度と比較すると0.4%の増となっています。予算編成にあたっては、依然として厳しい財政状況の中、財政の健全化に配慮しながら、総合計画に掲げる本別町の主要課題である(1)新たな仕事づくりの創造(2)少子高齢化、過疎対策の取り組み(3)高速自動車道路網、高速通信網の利活用(4)循環型社会の構築(5)地産地消の取り組みを進めるために必要な施策を盛り込んだ予算としました。

一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、62億3,744万1,000円で、前年度当初予算63億7,556万4,000円と比較し、2.2%の減となっています。

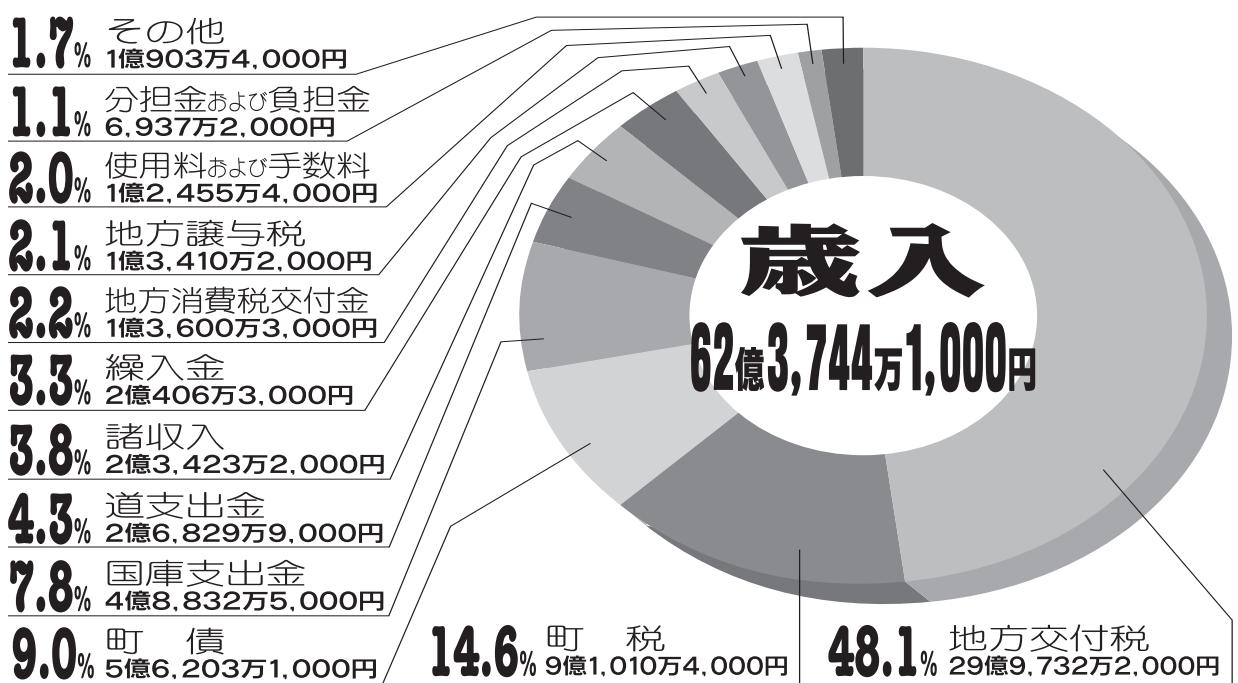
歳入については、町税は歳入の14.6%を占めておりますが、前年度当初予算と比較すると、59万8,000円、0.1%増の9億1,010万4,000円を見込んでいます。主な内容としては、町民税個人所得割が237万4,000円、0.7%増、固定資産税は家屋が549万4,000円、3.1%減、償却資産が680万9,000円、4.1%増となっています。なお、町税のうち入湯税273万5,000円は、観光施設や消防施設、環境衛生施設などの整備や観光振興などに充てることを目的とした地方税です。

地方交付税は、総額で歳入の48.1%を占めていますが、普通交付税については、個別算定経費の減、公債費算入額の減などから、前年度当初と比較して7,355万1,000円、2.6%減の27億4,788万6,000円を見込み、特別交付税を含めた地方交付税総額は、29億9,732万2,000円を計上しています。

繰入金は、財政調整基金をはじめとした基金繰入金を2億405万円とし、前年度と比較して1億1,603万円、36.3%の減としました。地方債は、5億6,203万1,000円を計上しておりますが、前年度比5,232万1,000円、10.3%の増で、主な要因としては、学校給食共同調理場改築事業が4,850万円の減となりましたが、道営美蘭別地区営農用水事業が2,030万円の増、橋梁長寿命化事業が1,660万円の増、栄町団地公営住宅建替事業が3,800万円の増となったことによるものです。

歳出については、自主財源の確保が厳しい状況であります。常なる行政改革を推進し、緊急かつ重要な事業を予算に反映させるとともに、少ない経費で最大の効果を生み出せるよう努めています。まず、投資的経費については7億189万7,000円を計上しておりますが、前年度当初予算と比較し、1億3,496万8,000円、16.1%減となりました。普通建設事業費は、平成26年度からの繰越事業を含めた総額では、3億5,690万3,000円の減、7億7,944万3,000円となっております。主な事業としては、町道整備事業2億2,426万9,000円、栄町団地公営住宅建替事業1億613万7,000円、町民水泳プール水槽改修工事2,276万7,000円などとなっています。雇用対策については、季節労働者雇用対策等を計上しております。

また、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に新たに盛り込まれた交付金「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」の2つの交付金事業については、プレミアム付き商品券発行事業に2,130万4,000円、住宅リフォーム費用の一部助成に400万円などを3月補正に計上し実施します。



特集

本別町のお金の使いみち

☆印は新規事業です

平成27年度の一般会計予算の主な事業について、
ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別町行財政改革の推進

第4次行財政改革大綱および推進計画の推進
(平成23~27年度)

- ・事務事業の再編、整理、廃止、統合
- ・新しい公共による民間委託等の推進

☆第5次行財政改革大綱および推進計画の策定
(計画期間: 平成28~32年度)



本別町総合計画後期計画の策定

☆第6次本別町総合計画後期5カ年計画の策定
(計画期間: 平成28~32年度) 41万1,000円

臨時福祉給付金事業

消費税率引き上げに伴い、低所得者への影響に対する適切な配慮を行うため、
引き続き臨時給付金事業を実施します。 事業費 1,292万4,000円
(うち給付額 960万円)

子育て世帯臨時特例給付金事業

消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への影響に対する適切な配慮を行うため、
引き続き臨時給付金事業を実施します。 事業費 522万5,000円
(うち給付額 261万円)

第3子以降の幼稚園・保育所利用者負担の無償化

満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子を3人以上扶養している場合においては、同時入所に関わらず、その3人目以降の児童の利用者負担を無償化とします。 保育料軽減額 1,142万8,000円

☆国勢調査事業

486万5,000円

☆豆まかナイト事業補助金

「豆のまち本別町」を標榜する本別町において、農商工連携の観点から、節分の時期に合わせ「豆」をテーマに参加型イベントを商工会青年部の主催により行うもので、事前のスタンプラリーによる商店街来訪者の増加促進をはじめ、本別町の特産品である「豆」のPRにより本別町の知名度向上や商店街の経済振興と活性化を図ることを目的としています。

雇用対策事業の推進

○季節労働者雇用対策事業

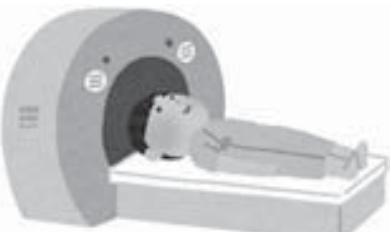
仙美里地区道路側溝支障木伐採除去 411万9,000円

○ワークシェアリング枠 (高校生2人) 329万4,000円

総事業費 741万3,000円

病院事業医療機器購入

MRI (磁気共鳴コンピューター断層装置) 更新等 9,637万1,000円



妊婦健康診査助成

- ・妊婦検診 14回分
- ・超音波検査 8回分

425万2,000円

インフルエンザ 予防接種助成

対象: 幼児、小・中・高校生、
高齢者 205万円

乳幼児・学童および 高齢者定期予防接種の充実 980万7,000円



特定健診および 各種がん検診の充実

クーポン券による子宫頸がん検診、
乳がん検診、大腸がん検診など。

735万7,000円



☆第3期地域福祉計画の策定

本別町が目指す地域福祉の基本目標、地域福祉活動を推進する基本方針を定め、今後5年間、町が取り組むべき事業計画を策定します。

28万1,000円

☆低所得者高齢者等住まい・ 生活支援モデル事業

空き家対策および空き家の有効活用、買い物困難者支援、除雪対策など、本別町にふさわしい総合的な住まいと生活支援のあり方について、検討委員会で検討を進め、一定の方向性を見出します。

644万6,000円

☆介護職員等資格取得研修支援事業

本町の介護施設等における人材確保およびすでに就労している介護職員の資質向上と定着を図るため、介護福祉等の資格取得にかかる試験・研修等に必要な経費の一部を補助します。

- ・対象者 町内の民間介護福祉施設等に勤務する人を対象に、その所属する事業所に補助
- ・補助額 資格取得に要した費用の2分の1
(上限1人5万円)

50万円

防災対策の推進

- ・非常用食料および防災資機材の整備
- ・地域防災研修会および災害団上訓練の実施



547万1,000円

東日本大震災被災地等支援事業

宮城県南三陸町への職員派遣 (任期付職員1人)

774万2,000円

☆地域活性化・地域住民生活等支援交付金活用事業
(3月補正予算計上)

事業名	概算事業費
I. 地域消費喚起・生活支援型	
① プレミアム付き商品券発行事業	2,130万4,000円
② ふるさと特産品販売事業	140万円
③ 生活支援商品券交付事業	550万2,000円
④ 誕生記念品贈呈事業	36万8,000円
計	2,857万4,000円
II. 地方創生先行型	
① 地方版総合戦略策定	562万4,000円
② 起業家支援奨励事業	990万円
③ イベントを核とした観光客誘引事業	794万2,000円
④ 地域特産品販路確立事業	238万1,000円
⑤ 特産品アンテナショップ開設事業	297万1,000円
⑥ カラマツ苗木生産研究事業	40万円
⑦ 不在村森林所有者林地流動化対策事業	139万円
⑧ マイタケ栽培研究事業	88万8,000円
⑨ 新規就農者担い手育成事業	107万4,000円
⑩ 農業後継者の配偶者対策事業	36万円
⑪ 公共交通利用促進事業	80万円
⑫ 住まいの環境整備促進事業	400万円
⑬ ふるさと応援団の拡大事業	38万7,000円
⑭ 地域間連携による経済・生活圈形成事業	1,522万7,000円
⑮ 資源集団回収事業	648万円
⑯ 有害鳥獣による農林業被害低減支援事業	36万2,000円
計	6,018万6,000円
合計	8,876万円

☆資料館特別展
「七月十五日本別空襲を伝える」
～昭和史から見る戦後70年～

戦後70を迎えるにあたり、昭和史最大の戦争被害となった広島の原爆の実態を知り、現存する本別空襲の記録をDVDにまとめ伝え残します。また、関連事業として講演会や朗読会を開催します。 **82万4,000円**

☆太陽の丘野球場オープン

整備を進めてきた野球場のオープンにあたり、記念事業として7月に十勝規模の少年野球大会を開催します。

「ほんべつ学」講座の開設

ふるさと本別をよく知ることで本別町を理解し愛し、その中で芽生えた本別にしかない魅力や地域の輝きを見出すため「ほんべつ学」講座を昨年度に引き続き開設します。

12万1,000円

小学生小松島市交流研修

友好都市である徳島県小松島市と本町の小学生を相互に派遣し交流を深める事業で、本年度は小松島市立江小学校が勇足小学校に訪れる年です。

25万円

ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど

※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

青年就農給付金

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。

300万円

☆町内間育成牛預託事業

酪農家の高齢化や規模拡大による労働力が増大するなか、加重対策として育成牛の預託に対し支援します。

事業費 1,095万円
(本町負担分 91万3,000円)



てん菜作付振興透排水性改善対策事業

てん菜の作付維持確保および輪作体系確立のため、圃場の透排水性を図る農業者を支援します。

事業費 286万円
(本町負担分 143万円)

本別高校の教育を考える会補助金

本別高校の存続および方向性を探るために調査・研究を進め、特色ある学校づくりを支援します。

入学の準備にかかる制服の購入費補助、遠距離通学補助、下宿代補助など。

1,903万8,000円

ふるさと交流研修

宮城県南三陸町の子供たちとの交流を通して、少年活動のリーダーを多く育て、両町の子供たちの絆を更に深めることができるよう推進します。

56万1,000円

☆図書館こどもまつりの開催

子どもの読書週間に、子どもの本に関わるボランティア団体が共同で、絵本、紙芝居、手遊び、人形劇などを通して、子どもがお話を楽しくふれあう機会として、乳幼児からの図書館利用を推進します。

2万3,000円

☆本別高校図書局への支援

本別高校の支援、連携事業として図書室の運営のアドバイスや本の紹介カード(P.O.P)づくり講座を実施し、若い世代への読書普及を図ります。

3万2,000円

未来につなぐ森づくり推進事業

民有林の植栽25ha、植栽地整備32ha

615万8,000円

道営美蘭別地区
宮農用水事業負担金

2,032万5,000円

☆ゲートボール場屋根葺き替え工事

- ・美里別ゲートボール場 370m²
- ・負船ゲートボール場 368m²

799万2,000円

道路橋りょう事業

- 町道山手朝日線通り舗装新設工事
総延長=359m 幅員=2.5m
歩道舗装=129m (平成24~27年度)
- 町道共栄通り歩道拡幅改良舗装工事
総延長=237m 幅員=2.5m 改良=89m
舗装=237m (平成25~27年度)
- 町道美里別川沿道路道路改良工事
総延長=1,000m 幅員=4.0m 改良=320m
(平成26~30年度)
- 町道栄町2号通り舗装新設工事
総延長=128m 幅員=4.0m 舗装=128m
(平成26~27年度)
- 町道勇足元町5号通り歩道拡幅改良舗装工事
総延長=204m 幅員=2.5m 改良=43m
舗装=204m (平成26~27年度)
- 本別町管内橋梁長寿命化事業
補修工=2橋、調査委託=2橋
(平成25~34年度)

※このほか道路整備事業として6事業計上してあります

総事業費 3億390万円
(事務費除く)

ハード事業編

建物、道路などの事業

☆仙美里保育所改修工事

既設木製建具取替4か所、既設木製建具調整後塗装7か所、外部塗装およびコーティング・天井塗装 799万2,000円

栄町団地公営住宅建替事業

木造平屋建1棟4戸、周辺外構共、駐車場整備4台、道路整備(改良=87m)・(舗装=114m²)など 1億563万6,000円
(事務費除く)

☆観光施設整備

義経の館、義経の里休憩所、本別公園ステージおよび本別公園駐車場トイレ屋根塗装修繕

1,018万5,000円

☆第2期南地区工業団地
整備事業

土地取得 12,404.42m²
1,736万7,000円

農業農村整備事業の推進

道営事業

- 畠地帯総合整備事業(パワーアップ事業)
 - ・本別地区工事
 - ・勇足地区工事
 - ・仙美里地区工事

事業費 2億3,000万円
(本町負担分 4,600万円)

☆消防用大型水槽車購入

水槽容量 10,000ℓ
4,766万8,000円



地域活性化・住民生活等 緊急支援事業を取り組みます

2月3日に成立した国の補正予算において、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の一環として交付される「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、本町においても、プレミアム商品券発行や住宅リフォーム支援などの取り組みを進めます。ぜひ、ご利用ください。



問い合わせ
本別町商工会
☎ 22-2529

プレミアム「いきいき商品券発行事業」
くらし応援と商工業の活性化を図るプレミアム商品券を発行します

4月13日から販売開始
〈発行総額1億円〉

○事業主体
本別町商工会

○販売日
4月13日（月）から24日（金）、
27日（月）
いずれも、午前10時から午後4時まで
※なくなり次第終了

○販売場所
町体育館研修室
(本別町北2丁目)

○発行総額
1億円（10000セット）
(1000円券×12枚)

○購入限度
お一人様2セットまで
(購入額2万円分)

○対象者
本別町内に住所を有する人
(ご購入の際は、身分証明書(運転免許証または健康保険証等)をご持参ください。ご家族の分も同時に購入される場合は、同様のご家族の身分証明書が必要です)

○商品券の有効期限
平成27年4月13日（月）から
平成27年10月11日（日）まで

問い合わせ
建設水道課
☎ 22-8122

5/1～付

リフォーム費用の一部を助成します

「住まいの環境整備促進事業」

安心して「ほんべつ」に住み続けられるよう、住宅の居住性の向上と地域経済活性化対策の一環として、住宅改修等を行う人に対しても費用の一部を助成します。一部、商品券での助成となります。

○受付期間
5月1日（金）から11月30日（月）まで
※土・日曜日、祝日は除く

○助成対象者

- 次の要件をすべて満たす人
- ①町内に住所を有する個人
- ②住宅リフォームを行う住宅の所有者で、その住宅に居住している人
- ③申請者が、町税や町の納付すべき公共料金等を滞納していないこと
- ④暴力団または暴力主義的破壊活動を行なう団体に所属していない人

○対象工事

- ①住宅の増改築、外壁・屋根等の新築工事、事務所に供する店舗等の改修、住宅のリリフォームを伴わない設備機器、備品等の購入、舗装工事、門・塀の新設および改修工事、他の新設および改修工事、他の奨励金・助成金・補助金等の交付を受ける工事に要する費用など
- ②助成金の交付決定前に住宅リフォームに着手していること
- ③平成28年2月29日までに工事完了届を提出できること
- ④次に掲げる工事で、工事費用の合計が20万円以上のもの

○対象となるない工事

- ①町内に事務所・営業所を持つ法人や町内で営業している個人事業者による改修等であること
- ②助成金の交付決定前に住宅リフォームに着手していないこと
- ③平成28年2月29日までに工事完了届を提出できること
- ④次に掲げる工事で、工事費用の合計が20万円以上のもの

○助成金額

10万円（ただし、工事費の合計金額が100万円を超える場合は、20万円を加算）

※同一対象者・同一住宅への助成は1回限り

※助成額のうち5万円分は町内で使用できる商品券で交付します

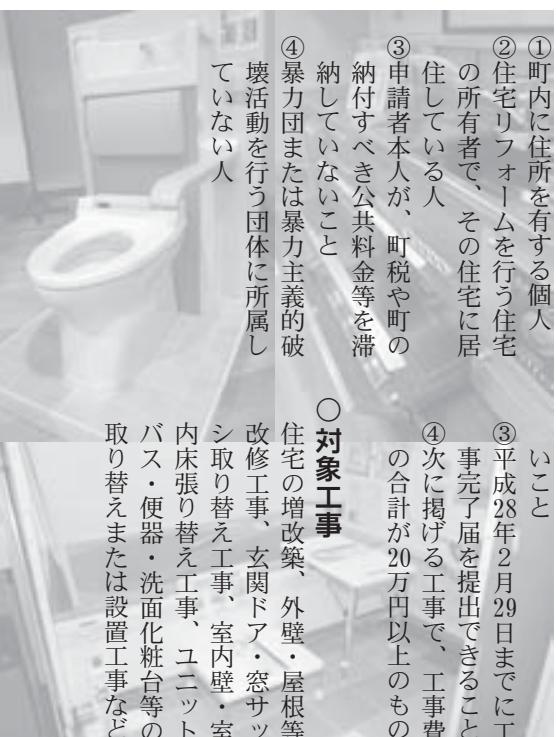
○手続きの流れ

- ①事前相談
- ②交付申請
- ③申請内容の審査
- ④助成金の交付決定
- ⑤工事着工
- ⑥工事完了
- ⑦実績報告
- ⑧助成金の確定
- ⑨助成金の請求
- ⑩助成金および商品券の交付

★事業者等説明会を開催します

とき 4月15日（水）午後1時30分から
ところ 中央公民館視聴覚室

※本別建設業協会加入の事業所等へは個別に案内します



○受付期間
5月1日（金）から11月30日（月）まで
※土・日曜日、祝日は除く

○助成対象者

- 次の要件をすべて満たす人
- ①町内に住所を有する個人
- ②住宅リフォームを行う住宅の所有者で、その住宅に居住している人
- ③申請者が、町税や町の納付すべき公共料金等を滞納していないこと
- ④暴力団または暴力主義的破壊活動を行なう団体に所属していない人

○対象工事

- ①住宅の増改築、外壁・屋根等の新築工事、事務所に供する店舗等の改修、住宅のリリフォームを伴わない設備機器、備品等の購入、舗装工事、門・塀の新設および改修工事、他の新設および改修工事、他の奨励金・助成金・補助金等の交付を受ける工事に要する費用など
- ②助成金の交付決定前に住宅リフォームに着手していること
- ③平成28年2月29日までに工事完了届を提出できること
- ④次に掲げる工事で、工事費用の合計が20万円以上のもの

○対象となるない工事

- ①町内に事務所・営業所を持つ法人や町内で営業している個人事業者による改修等であること
- ②助成金の交付決定前に住宅リフォームに着手していないこと
- ③平成28年2月29日までに工事完了届を提出できること
- ④次に掲げる工事で、工事費用の合計が20万円以上のもの

○助成金額

10万円（ただし、工事費の合計金額が100万円を超える場合は、20万円を加算）

※同一対象者・同一住宅への助成は1回限り

※助成額のうち5万円分は町内で使用できる商品券で交付します

○手続きの流れ

- ①事前相談
- ②交付申請
- ③申請内容の審査
- ④助成金の交付決定
- ⑤工事着工
- ⑥工事完了
- ⑦実績報告
- ⑧助成金の確定
- ⑨助成金の請求
- ⑩助成金および商品券の交付

★事業者等説明会を開催します

とき 4月15日（水）午後1時30分から
ところ 中央公民館視聴覚室

※本別建設業協会加入の事業所等へは個別に案内します



3,000円 → 2,100円

- ◎岡女堂本家甘納豆詰合せ「豆重」
(岡女堂本家(同)豆屋とかち)
甘納豆7種、栗甘納豆
- ◎納豆詰合せL
(山口醸酵食品)
黒豆納豆、大袖振大豆納豆、無農薬安心納豆、
キレイマメ黒豆納豆、鞍掛納豆、田舎納豆、竹
取物語、納豆物語
- ◎栗豆甘納豆・舞茸つゆ・舞茸しょうゆ・
舞茸みそ詰合わせ
(前田農園)
- ◎栗豆甘納豆6個セット
(前田農園)
- ◎農場セット
(十勝がんこ農園2)
きざみ大豆乾燥、乾燥にんじん、粉末にんにく、
粉末ごぼう、ジャムイエローにんじん、とまと
ジャム、白花豆、大納言小豆
- ◎どうぶつさんクッキー
(欧風ケーキ工房かねもり)
- ◎本別産牛肉C
(岡本精肉店)
焼肉用カルビー 400g
- ◎本別産牛肉D
(岡本精肉店)
焼肉用もも肉 400g
- ◎“くり豆甘納豆”友の会セット
(くり豆友の会)
- ◎ほんべつ黒豆うどん
(源すし)
黒豆うどん 180g ×8

○申請窓口	○申請受付期間	○交付額	○交付対象者	○申請に必要なもの	○商品券の交付方法
役場子ども未来課 (特設窓口)	4月15日(水)から5月29日 (金)まで	対象者一人につき3000円 ※商品券は、今回発行するプロ ミアムいきき商品券を お渡します	次の要件を満たす人 ①平成27年4月1日現在にお いて本町の住民基本台帳に 登録されている人 ②平成26年度分の町民税が非 課税の人(課税者の扶養親 族となっている人を除く)	申請書、印鑑、本人確認書類 (運転免許証または健康保 険証等)、町外の非課税者に扶 養されている人は、扶養者の 課税證明書 ※交付対象の人が同一世帯に 複数いる場合は、1枚の申 請書で申請できます	申請書を受領後、その場で審 査を行い、対象の場合は商 品券を交付します
★代理申請ができます 対象者本人が手続きできません 場合は、代理申請ができます ので保健福祉課(☎22-18 520)までご相談ください					

- ◎ぽんとべんべ詰合せ～こだわりの
甘納豆と羊羹～
(くり豆本舗)
くり豆甘納豆、彩り甘納豆、くり豆羊羹、白花
豆羊羹、青えんどう羊羹、紅しばり羊羹
- ◎とかちの恵みギフト
渋谷発酵食品セット
(渋谷醸造株)
みそトマト、チーズとうがらし、米みそ、無添
加こいくち醤油、手造りつゆ、三升漬
- ◎Mame Manma まめまんまセット
(本別町農業協同組合)
マメマンマ焙煎大豆、焙煎黒豆、生豆(金時、
小豆、黒豆)
- ◎豆ではりきる母さんセット
…母さんの手作りあれこれ
(本別豆ではりきる母さんの会)
キレイマメ黒豆豆腐、本別豆腐、あぶらあげ、
きな粉、ワイン煮、つまめ豆
- ◎前田農産100%小麦粉5品種セット
(前田農園)
- ◎ほんべつ義経の里味付じんぎすかん
(篠原精肉店)
ジンギスカン 400g ×3
- ◎本別銘菓
(松月堂菓子店)
くり豆ようかん、屏風岩、元気くん最中

問い合わせ
保健福祉課(総合ケアセンター内)
☎22-8520

4月15日から申請受付開始

**「生活支援商品券
交付事業」**

町民税が非課税の人の生活安定と地域経
済の活性化を図るための「生活支援商品
券(いきいき商品券)」を交付します

●申請に必要なもの
申請書、印鑑、本人確認書類
(運転免許証または健康保
険証等)、町外の非課税者に扶
養されている人は、扶養者の
課税證明書
※交付対象の人が同一世帯に
複数いる場合は、1枚の申
請書で申請できます

●商品券の交付方法
申請書を受領後、その場で審
査を行い、対象の場合は商
品券を交付します

5,100円 → 3,570円

- ◎キレイマメギフトBセット
(本別町観光協会)
黒豆味噌、黒豆豆腐味噌漬、黒豆味噌漬
カマンベール、なんばん味噌、黒豆生豆、
黒豆納豆、素焼黒豆

5,000円 → 3,500円

- ◎本別産牛肉A
(岡本精肉店)
サーロインステーキ 220g ×3
- ◎本別産牛肉B
(岡本精肉店)
リブステーキ 220g ×3

3,500円 → 2,450円

- ◎キレイマメギフトAセット
(本別町観光協会)
黒豆味噌、黒豆豆腐味噌漬、黒豆生豆、
黒豆納豆、素焼黒豆

1,620円 → 1,134円

- ◎納豆詰合せS
(山口醸酵食品)
黒豆納豆、大袖振大豆納豆、鞍掛納豆、
キレイマメ黒豆納豆、田舎納豆三角

30% OFF

GIFT SET
select

問い合わせ
本別町観光協会事務局
企画振興課
☎22-2141

町が指定する地域の食資源(名物商品)を3割引で販売します。町内外へ「ほんべつ」をアピールし、知名度の向上やマーケティングの拡大を図ります

3/30～受付

「ふるさと特産品販売事業」

○事業主体
本別町観光協会

○販売期間
3月30日(月)から

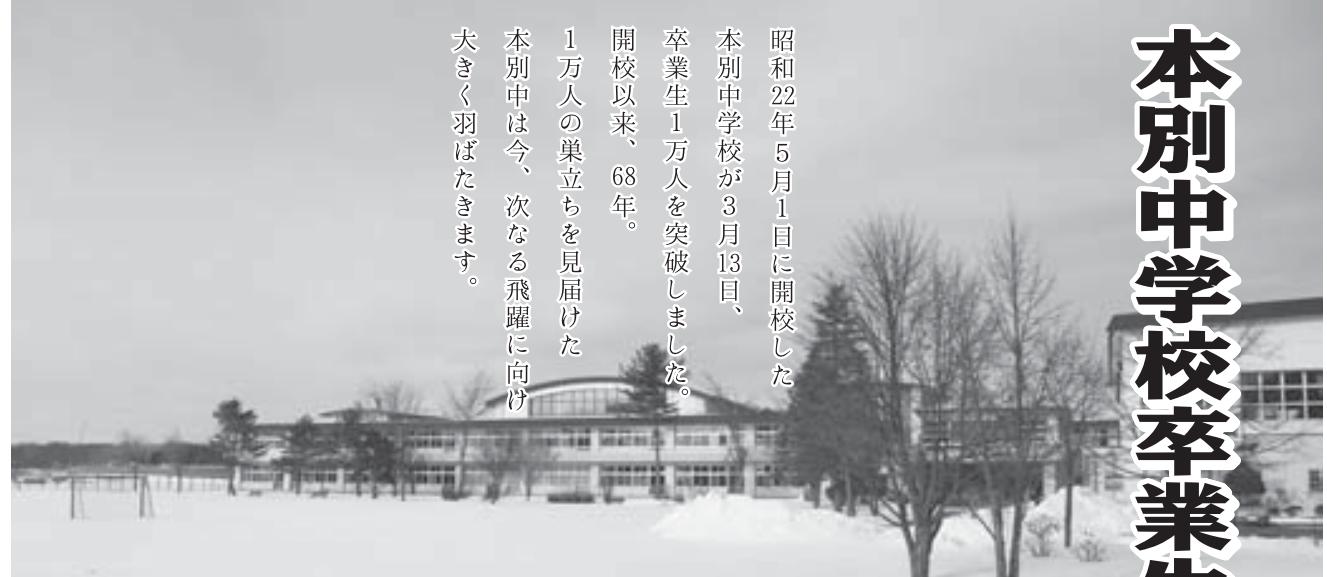
※販売品の予定数量に達した時点で販売終了となります

※各商品内容の詳細については、新聞折り込みチラシや町ホームページから「春のギフトセットセレクション」申し込みフォームでご確認ください

○申し込み方法
①電話の場合
本別町観光協会(役場企画振興課内)へ
☎22-12141
②ファックスの場合
専用申込用紙に必要事項をご記入の上、本別町観光協会まで送信してください
ファックス 22-3237
③インターネットの場合
町ホームページ「春のギフトセットセレクション」申し込みフォームに必要事項を入力してください

○支払いおよび商品の発送
代金は前払いにてお支払いいただき、準備ができ次第随時発送します
※注文状況により配達希望日などのご要望に添えない場合がありますので、ご了承願います

本別中学校卒業生10000号記念事業



昭和22年5月1日に開校した
本別中学校が3月13日、
卒業生1万人を突破しました。
開校以来、68年。

1万人の巣立ちを見届けた
本別中は今、次なる飛躍に向け
大きく羽ばたきます。



岩田公雄氏講演会



第68回卒業証書授与式
卒業生10000号記念式典

目標高く、日々挑戦。

本別中の誇り胸に、努力誓う。

講演会では、初めに主催者を代表し、前田会長が「本別町で生活された岩田さんには講演いただき感謝します。本別中学校が1万人の巣立ちを迎えるに当たり、多くの人の協力にお礼申し上げます」とあいさつ。

引き続き、岩田氏が講演で、昭和36年から39年に過ごした本別での小中学校時代の思い出や、大学生時代に報道記者を志したきっかけのほか、世界各の大事件を取材する中での体験などを、映像を交えて紹介しました。その中で岩田氏は、記者として事件の内容を忠実に伝えるためにも、背景となる歴史や原点をしつかり勉強しておくこ

とが重要だと強調し、「生命の危険と隣り合わせの場面もあったが、現場で起きている事件やそこで暮らす人たちの生活を目で見て、肌で感じて伝えるため懸命に走り回った」とこれまでの苦労と報道に対する熱意を語りました。

講演の最後には、会場の中学生へ「中学時代は友達をつくり、いろいろなことに関心を持つて、自分の感覚を磨いていくてほしい。目標を高く持つて、日々挑戦して」と笑顔で呼び掛け、会場を訪れた約150人の来場者は、事件取材の臨場感やふるさと本別への熱い思いに聞き入りました。



仙美里中との統合後初となる今年度の本別中学校卒業式。3年生の生徒らは、緊張した面持ちで会場の体育館に入場し、校歌斎唱の後、山口校長から一人ひとり卒業証書を受け取りました。山口校長は、「卒業おめでとう。本別中開校68年の伝統を胸に刻み、しっかりと自分の人生を歩んでください」と式辞を述べ、高橋正夫町長、前佛清治PTA会長、前田芳雄同記念事業協賛会長が卒業生へ祝福と激励の言葉を贈りました。同記念事業協賛会からは、卒業1万人突破を記念し、同校へ移動式液晶モニターと本別中の歴史や生徒の合唱などを収録した記念DVDが贈られました。

引き続き行われた別れのセレモニーでは、卒業生と在校生が互いに、学校生活の思い出のほか、両親、担任教師への感謝の気持ちなどを時折涙を浮かべて語り合い、卒業生47人は本別中の別れを惜しみながらも笑顔で巣立ちました。

受賞おめでとうござります

平成26年度 町教育功績者 少年少女文化・スポーツ奨励賞

11個人、2団体

教育功績者

平成26年度「町教育功績者表彰式」ならびに少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が3月7日、多くの保護者や関係者が見守る中、中央公民館で執り行われました。両式典とも、主催者を代表して水谷令子教育委員長のあいさつに続き、高橋正夫町長ならびに方川一郎町議会議長がお祝いの言葉を贈りました。町教育功績者表彰を受賞した丑若浩行さんは「一緒に活動してきたご父兄や各学校の教職員の皆さんに感謝します」、少年少女文化・スポーツ奨励賞受賞者代表の高橋昌也さんは「指導してくれた先生、影で支えてくれた親や仲間に感謝し、今の結果に満足することなく目標に向かって努力します」とお礼のことばを述べました。功績者および受賞者は次の通りです。



PTA役員として、学校教育活動を始めPTA活動推進と本町の教育振興に多大な貢献をされました。

【個人】
少年少女文化奨励賞
佐藤 初音さん（中央小4年）
十勝子ども大会
社会科作品の部
金賞



前川遥斗さん（中央小4年）
十勝子ども大会
工作の部
特選



河野愛梨さん（本別中2年）
全道中学生の税をテーマとしたポスター
コンクール
十勝総合振興局長賞
金賞

少年少女スポーツ奨励賞

【個人】



貝瀬茉佑さん（中央小6年）
第32回北海道小学生陸上競技大会十勝予選会
小学6年女子ソフトボール投
第1位

留田祥聖さん（本別中2年）
第32回北海道小学生陸上競技大会
小学6年女子ソフトボール投
第4位



【団体】
本別水泳スポーツ少年団
（4人）

第17回十勝新春水泳競技大会
9・10歳女子200mフリーリレー
第1位

第33回十勝中学校水泳大会
男子200m背泳ぎ
第1位

第33回十勝中学校水泳大会
男子100m背泳ぎ
第1位

第35回北海道中学校剣道大会
男子個人
第3位



**本別・勇足中学校
バレーボール部（8人）**
全十勝中学校秋季バレーボール大会
女子
第1位



Information

住民総参加型スポーツイベント

CHALLENGEDAY

対戦相手決定

対戦相手が、3月6日に決まりました。

対戦相手は…… 小坂町（秋田県）

小坂町は、秋田県の北東部に位置し、町の北東部に十和田湖を有しており、19世紀初頭に小坂鉱山の発見で大いに栄えました。現在は小坂鉱山の技術を生かした家電リサイクル関連産業と明治期の近代建築や十和田湖の自然を生かした観光の町です。

▶小坂町と本別町の概要

項目	小坂町	本別町
チャレンジデー実施回数	5回目	5回目
人口(H27.2.1)	5,643人	7,706人
面積	201.95km ²	391.99km ²
年平均気温	9.7℃	6.3℃
年降水量	1,254.0mm	832.0mm



本別町チャレンジデー2015

とき 5月27日(水) 午前0時～午後9時
ところ 町内ならどこでもOK
対象 子どもから大人まで
テーマ スポーツは健やかな日々へのパスポート



参加団体を募集しています!!

本別町チャレンジデー参加自治会の声

勇足元町自治会 会長 佐藤 猛さん



実行委員会では、健康づくりのきっかけとしてチャレンジデーに参加する自治会、企業、グループなどの団体を募集しています！参加される団体には参加賞を用意するほか、自治会の取り組みは事前にチラシでお知らせします。

詳しくはチャレンジデー実行委員会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ
実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当)

☎ 22-2331

平成26年度「福祉でまちづくり宣言」記念事業

平成26年度「福祉でまちづくり宣言」記念事業（本別町健康長寿のまちづくり会議主催＝井出玉午会長）が3月6日、「生涯現役をめざし、お口の健康から地域づくりを考える」をテーマに中央公民館で開催されました。



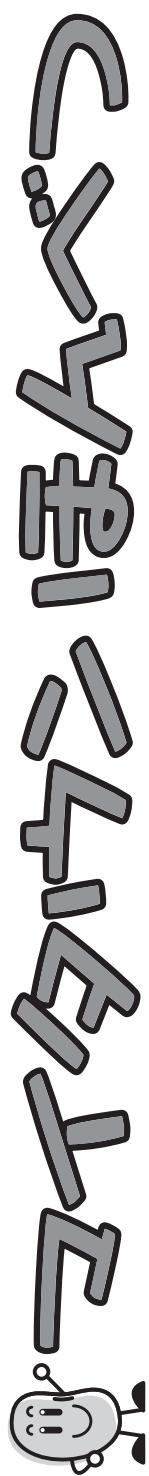
健康で長生きするため！

記念事業では、井出会長のあいさつに続き、出席者全員で福祉でまちづくり宣言文を朗唱の後、岐阜県郡上市地域医療センター国保和良歯科診療所南温所長を迎えて「超高齢社会なんか怖くない！生涯健口でピンピンコロリ～口から広がる地域の和・笑・話」と題し講演会が行われました。南所長は、「生涯自立した生活をするためには、固いものを何でも噛める歯を維持し、効率よく栄養を摂取できる状態にすることが大切で、口腔は生命維持の息をする、食べる、話すの三大機能を担つており、包括的口腔ケアで、取り組むことが重要」と語ったほか、同医療センターや地域で取り組み事例を交えながら「超高齢化社会において、特に地方では、住民一人ひとりをサポートするマンパワーが不足するため、予防など自己防衛の必要があり、幼少期から生活習慣の改善や介護状態にならないため、住民個々の予防意識の向上に取り組み、保健・医療・介護の連携による地域包括医療・ケアの構築が必要」と強調しました。

最後に、賀陽歯科医院賀陽真哉院長や町内で口腔ケアに携わる担当者などによるミニセッションが行われ、今までの取り組みや日ごろの思いを語り、出席した約170人は、健康で長生きするため、口腔機能維持の重要性を認識しました。



口腔ケアに携わる担当者によるミニセッションの様子



走ってくぐって ニッコニコ

2/26

子供たちの運動能力向上を目的としたコーディネーション運動教室が2月26日、南保育所で開かれました。これは、運動能力が伸びると言われる5歳前後の子供たちの運動習慣のきっかけをつくろうと、町スポーツ推進委員の呼び掛けで実施されたもので、町内保育所での取り組みは初めて。同保育所の年少から年長の子供たち30人は、同推進委員2人とともに手を広げて走ったり、フラフープ通り抜けるなど、ニコニコ笑顔で全身を動かしました。



防災体制を確認

2/27

本別町防災会議（会長＝高橋正夫町長）が2月27日、役場で開かれました。会議には、本別警察署や消防署、建設業協会など関係団体から15人が出席。平成26年度の台風11号や暴風雪の被害状況などの報告のほか、本別町地域防災計画の見直しや平成27年度防災事業の実施計画について協議が行われ、今後も防災研修会の開催や食料、防災資機材の整備、備蓄等を計画的に進めていくことを確認しました。



日ごろの成果を披露

2/22

第38回舞踊祭（町文化協会主催）が2月22日、中央公民館で開催されました。ステージ上では、華やかな衣装を身にまとった9団体59人の出演者が、日本舞踊やクラシックバレエなど22演目で、日ごろの練習した成果を披露しました。会場を訪れた約210人の観客からは、踊りが終わるたびに温かい拍手が送られました。



昔の遊びもおもしろい

2/24

本別中央小学校（帰山孝美校長）1年生41人が2月24日、同校で昔遊びを体験しました。これは、生活科の学習の中で行われたもので、児童らは町歴史民俗資料館友の会会員5人の協力のもと、メンコや竹わり、おはじきなど6種類の遊びに挑戦。普段遊ぶ機会の少ない道具に悪戦苦闘しながらも、児童らは元気いっぱい伝統的な遊びに親しみました。



学校教育目標

「人間性豊かな子」

- ☆ しっかり考え よく学ぶ子
- ☆ 思いややりがあり よく励む子
- ☆ 明るく たくましい子

各学校の手作りページ

HELLO 仙美里小学校

から地域唯一の学校となりました。それだけに保護者・地域の皆さんとのつながりはいつも強くなっています。それでは、写真で振り返る26年度後期編、どうぞご覧ください。

仙美里小学校は、「子どもも教師も輝く『活力ある学校』」を旗印に児童30人と教職員14人、そして、保護者・地域の皆さんと、笑顔で仲良くふれ合ってきました。

本校は、25年度で中学校が閉校になったこ

目指す 教育活動



8月 修学旅行
思い出いっぱいの修学旅行



10月 全道へき地複式教育研究大会
全道からたくさん的人が来られました



11月 学習発表会
保護者・地域有志・職員でバンド演奏

子どもと豊かに関わり
一人ひとりを大切にした教育活動！



12月 もちつき体験学習
保存会の人に教えてもらいました



1月 親子ふれあい料理教室
「たこやき、早く食べたいな」



2月 校内スケート記録会
寒風切りゴール目指す豆スケーター

たくさん笑って 楽しもう

3|7

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）主催による「コミュニケーション学習会～高齢者とのかかわり方～」が3月7日、図書館で開かれました。講師は帶広市在住で劇団ほうき座副代表など多方面で活躍されている窪田稔さん。窪田さんは、高齢者などと接するときのポイントとして、「誰でも認められ、ほめられるうれしい。話をする時は聞き上手になり、笑顔であいづらうなずきをすることが大切です」とアドバイス。最後は「大きな声で話し、たくさん笑って自分自身も健康でいましょう」と呼び掛け、参加した38人は会話を楽しむコツを学びました。



世界に1冊の 絵本を完成

3|8

家庭教育支援事業「なかよし」による絵本の読み聞かせと絵本作りが3月8日、子育て支援センターで開かれました。これは、同センターを日曜解放する“ファミリーデー”に合わせて行われたもので、参加した4組9人の親子が図書館職員の手ほどきを受けながら絵本作りに挑戦。折り紙を切ったり貼り付けたりしながら自分の名前などを書き添えて、世界に一つだけのオリジナル絵本を完成させました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

3|1

坂井トキさん（北6丁目）が3月1日に100歳を迎えるにあわせ、高橋正夫町長から敬老祝い金と商品券が贈呈されました。

トキさんは大正4年3月1日に美里別で生まれ、故金作さんと結婚し4女のお子さんを育て、孫4人、ひ孫5人に恵まれました。100歳を迎えたことに次女の久恵さんは、「90歳近くまで、パークゴルフを楽しむなど体を動かすことが大好きで、昨年の7月に入院するまで身の回りのことは自分でやっていた。ここまで長生きできて喜んでいます」と話しました。現在は、昨年11月に退院後、週5日の訪問看護と娘さん4人の協力で介護を受けながら自宅で生活しています。



酪農経営を魅力あるものに

3|5

平成26年度最後の第4回農業塾が3月5日、若手農業者など26人が参加し中央公民館で開かれました。サラリーマンの家庭で生まれ北海道大学を卒業後、2000年に足寄町へ酪農家として新規就農したありがとう牧場吉川友二さんを講師に「楽農ってなんだ？ありがとう牧場の奇跡と展望」と題した講演が行われました。吉川さんは、本来、草食動物である牛を、穀物飼料に頼らず放牧で飼料経費を抑え、乳量や品質を確保する技術により所得率の向上など、足寄町放牧研究会で仲間たちと研究してきた取り組みについて紹介したほか、「酪農経営をゆとりあるものとし、職業として魅力を持つものにしていきたい」と思いを語りました。



ダンス、歌声に 温かい拍手

2|28

第29回本別町高齢者文化祭（老人クラブ連合会主催）が2月28日、中央公民館で開催されました。会場では、高齢者生きがいクラブなどで製作された陶芸や手芸作品などが多数展示されましたほか、2部に分かれた芸能発表には町内12老人クラブから63人が出演。カラオケやダンス、民謡などで、自慢の歌声や日ごろの練習の成果が発表されると、約230人の来場者から温かい拍手が送られました。



ユニホックに チャレンジ！

2|28

あかげら少年団後期第4回が2月28日、銀河アリーナで開催されました。今年度最後となるこの日、参加した団員16人は、スポーツ推進委員5人の指導のもと、ボール投げなどの軽運動のほか、室内で行うミニホッケー「ユニホック」にチャレンジ。スティックを片手にボールを奪い合いながらスパやショットを繰り広げました。全4回に参加した真鍋心優さん（本別中央小5年）は、「あかげら少年団に参加して、みんなと仲良くなつて学校でもおしゃべりできるようになって楽しかった」と語りました。



福祉計画に対する 意見を具申

2|27

第4回健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）が2月27日、総合ケアセンターで開催されました。事務局から町内3地区で開催した第4期障がい福祉計画案、第5期障がい者保健福祉計画案、第6期銀河福祉タウン計画案の地域説明会で寄せられた意見が報告された後、それぞれの計画案について審議しました。全ての計画が全員一致で承認され、井出会長から計画案についての意見を高橋正夫町長へ具申しました。



上映会の開催を検討

2|27

町議会議員会（会長=林武副議長）主催による映画「じんじん」の試写会が2月27日、町議会議場で開かれました。これは、平成26年に町議会総務常任委員会が「絵本の里剣淵町」を行政視察で訪問した際に上映会の話しを伺ったことがきっかけで、本町での上映会開催を検討するために町や教育関係者を招いて実施されたものです。映画は剣淵町を舞台に絵本がつなぐ親子の絆や人のやさしさなどが描かれており、この日は議員や町内小中学校の校長など33人が観覧しました。上映会の開催については今後、実行委員会の結成に向けて協議を行う予定です。



100歳おめでとうございます
町敬老祝い金の贈呈

武田ハナさん（向陽町）が3月10日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金と商品券が贈呈されました。

ハナさんは、大正4年3月10日に池田町で生まれ、故勇さんとの結婚を機に本別町へ。雑貨商を営みながら、3男1女のお子さんを育て、孫6人、ひ孫6人に恵まれました。平成22年からは町特別養護老人ホームに入所しており、お

祝いのこの日は、ご家族や入所者からたくさんの花束やプレゼントをもらい、ハナさんは手を上に上げるなど感謝と喜びの気持ちを表していました。ハナさんが100歳を迎えたことについて長男の有功さんは、「母は老人ホームに入る前まで、新聞販売所を営むなど、一生懸命働いてきたことが長生きの秘訣だと思う。職員の皆さんにお世話になり感謝します」と感激の思いを語りました。



個性を伸ばす 指導方法を学ぶ

町体育協会（大西光夫会長）と町スポーツ少年団本部（我妻勇次本部長）主催の技術講習会兼少年団本部指導者・母集団研修会が3月11日、町内の少年団指導者や保護者など約30人が参加し町体育馆で開かれました。幕別町でNPO法人幕別札内スポーツクラブを経営する小田新紀クラブマネージャーを講師に、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる環境づくりや、個々の個性を伸ばす指導など、同クラブの指導方針についての講話のほか、サッカー少年団等を対象とした技能講習会も行われました。



3 | 11

北海道教育長賞
入選 谷川雅知（2年）
十勝総合振興局長賞
金賞 佐藤ななみ（1年）
銀賞 有沢瑠奈（2年）

詳しく述べ
住民課戸籍年金担当へ

課戸籍年金担当へ



豊かな音色を披露

本別ジュニアプラスアンサンブル
(鈴木晶愛団長) 第17回定期演奏会が3月8日、本別中央小学校第2体育館で行われました。同アンサンブルの団員12人は、3部構成のステージで日ごろ練習してきた4曲を団員のみで、アンコールを含む6曲を本別中学校吹奏楽部との合同演奏で披露。第2部では楽器紹介・楽器体験会として来場者にさまざまなおもてなしを行いました。



矢吹正義さんに 高齢者叙動伝達

矢吹正義さん（元本別町議会議員）が旭日単光章を受章し3月9日、奥山芳博十勝総合振興局副局長らが自宅を訪れ、勲記と勲章を手渡しました。矢吹さんは昭和45年8月から平成2年8月までの間、本別町議会議員を務められ、同議会の産業経済常任委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長、建設常任委員会委員長などを歴任。5期20年の長きに渡り本町の発展に尽力されました。



新型救急車を導入

本別消防署（小坂祐司署長）に新型の高規格救急車1台が導入され3月9日、運用を開始しました。この導入は、これまであった2台の救急車のうち1台を更新したもので、今回の更新により、同署の救急車は2台とも高規格救急車となりました。新車両には最新の人工呼吸器や自動心臓マッサージ器など10の救急資機材を搭載しており、1度に2人まで搬送可能。これまでよりも車内のスペースが拡大され、スムーズな救命活動が可能となり、小坂署長は「今後も署員一丸となって救命訓練に励み、町民の皆さん的安全安心のため尽力します」と語りました。



日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになっています。

加入の種類（種別）は、

◎第1号被保険者・自営業者や学生、無職の人など

◎第2号被保険者・厚生年金や共済組合の加入者

◎第3号被保険者・第2号被保険者に扶養されている配偶者（収入が一定額を超えない人）

の3種類に区分されています。ご本人の結婚や配偶者の就職・転職などで国民年金の加入の種類（種別）が変わることがあり、左記の表のように、種別変更等の手続きが必要となる場合があります。

手続きをされなかつた場合は、病気やけがで障がいが残つたときや、死亡した場合の障害年金・遺族年金を受け取ることができなくなる場合もありますので、必ず手続きをしてください。

こんなときは国民
年金の手続き（種別
変更）が必要です！

No.156

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つね！

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。



佐々木
向陽町



柏木町
藤川昇
(眞美ママ)
楓ちゃん

本別の活性化を考える

本別中学校（山口弘康校長）2年生46人が2月27日および3月16日に、本別町の活性化を考える授業に取り組みました。これは、総合的な学習Ⅲ「地域改革プロジェクト」の中で行われたもので、生徒らは2月27日には町企画振興課職員から本町で行われているまちづくりの課題や改革についての講話を聞き、地域の活性化を進めるための構えを学習した上で、本別の地域おこしについて具体的な方策を検討。自分たちで考えた活性化の取り



2/27

組みを3月16日に高橋正夫町長へ発表し、「本別に大型のデパートを」「特産品を使った製品の工場を設立しては」などと観光や働く場の確保などを目的とした多数の意見が出されました。高橋町長は、生徒たちの提案を一つでも実現できるように検討していきたいと語ったほか、「失敗を恐れず自信をもって何事にもチャレンジし、これからもがんばってほしい」と生徒らを激励しました。

ご寄付ありがとうございます

平成27年2月16日から3月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。（敬称略）

★本別町老人ホーム指定

タオル100本 上押帶 笠原紀美恵
バスタオル6本、タオル12本、雑巾55枚 本別町赤十字奉仕団 委員長 佐藤郁子
タオル100本 役場職員夫人一同 代表 高橋照子

★本別町国民健康保険病院指定

タオル30本 拓農 下山金博

タオル64本 役場職員夫人一同 代表 高橋照子

★町内保育所指定

りんご60個 山手町 横須賀誠

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

各金10,000円

..... 福岡県 山口真季	群馬県 青柳則夫
福岡県 城芳治	岡山県 宮田貴志
東京都 高橋紘士	愛知県 岩田京子
兵庫県 木村俊一	愛知県 山口雅子
金30,000円	神奈川県 青木敏
金100,000円	南4丁目 鷺巣正樹
計金290,000円	匿名27人

みんなの健康

368

潰瘍性大腸炎とは、大腸の粘膜に炎症（びらんや潰瘍）が生じ、下痢や腹痛、発熱が続いたり、血便が出たりする原因不明の病気です。血便が生じることがあるので、初期には痔と勘違いされることもあるよう

あります。現在患者数は全国で15万人を超過しており、毎年5000人と増えています。この疾患は、大腸に活動性の高くなつた白血球が集中し、自身の粘膜を攻撃することにより炎症が生じることが分かつています。こ

の切除に至ることもある潰瘍性大腸炎ですが、重症化すれば、大腸の切除に至ることもあります。

こうした新

しい治療が大きく進歩していきます。なお、この疾患は厚労省の特定疾患（難病）に指定されており、患者負担を軽減する措置がとられています。

※白血球除去療法—1回60分、週1～2回施行。5回ないし10回を1クールとする—町国保病院でも施行できます。

本別町国民健康保険病院
人工透析室
技師長 白山英明

潰瘍性大腸炎 (UC-Ulcerative colitis) のお話

初期には痔と勘違いされることもあるので、初期には痔と勘違いされることもあるよう

あります。薬に加えて、透析治療のように血液を取り出し、炎症に戻す治療※も大きな効果が確認されています。

ことに、近年、いくつもの薬が開発されており、多くの症例で寛解を維持することができるようになりました。薬に加えて、透析治療のように血液を取り出し、炎症に関係している白血球を除去して体に戻す治療※も大きな効果が確認されています。

足寄町 探鳥会

私たちの生活にもっとも身近な野生動物である鳥たちを、足寄の野山で探りませんか。

□とき 5月10日(日) 午前8時から

□集合場所 里見が丘公園駐車場の芝桜園入口
□開館時間 午後2時
□午後10時30分

□参加料 無料
※暖かい服装をして、双眼鏡やカメラ、筆記用具をお持ちください
□詳細 足寄動物化石博物館
☎251-9100

陸別町 銀河の森天文台 木星と春の天体観望会

今年の木星は、かに座の中にあり見ごろを迎えてます。美しい木星のしま模様をお楽しみください。

□とき 4月29日(水)～5月10日(日) 午後7時30分

□開館時間 正午から開館します
※土・日曜日、祝日は午後7時30分から説明会を行います

□入館料 ￥10,000
※4月25日から5月6日の期間中は、
大人300円
小人(小・中学生)200円
《夜間》大人500円
小人(小・中学生)300円
※小学生未満無料

□問い合わせ 銀河の森天文台
☎271-8100



銀河ホワイトアーティスト
—足寄町・陸別町がひ —

戸籍のまど

お誕生

盛 順 太くん 政雄さん 2/14 負 箕 1
はや た か ん ぎ ゆ う さん に せ い 12月後半から
3月前半の
届出分

ご結婚

(加 藤 将 人さん 拓 農
山 脇 千 寻さん 北5丁目)

おくやみ

岡崎 博さん 89歳 2/19 向陽町
 田畠 兼一さん 79歳 2/19 向陽町
 森 はあさん 99歳 2/20 負 箕 1
 北村 良枝さん 86歳 3/3 共 栄
 工藤 知子さん 84歳 3/5 活 込
 濱名 四一さん 94歳 3/5 美里別西中
 岡本富美子さん 86歳 3/11 押 帯
 稲船 隆良さん 74歳 3/12 柳 町

本のある暮らし

169

1年生になつたら♪

～ぶっくるからの贈りもの～

もうすぐ1年生の皆さんに、図書館ボランティアぶっくるから心を込めたプレゼントがあります。

それは、新1年生が安全に登下校して「無事カエルのように」と願って作ったカエルのストラップと、「本をたくさん読んで成長してほしい」という思いを込めたしおり。

どちらも会員の手づくりで、ひとつひとつ表情が違います。

入学後、各学校でお渡ししますので、楽しみにお待ちください。そして毎日元気に学校へ通い、「本という友だち」もいっぱいいくつってくださいね！



楽しみに
待っててね！

わたくしたちのまち

前月比

人口 7,680人(-26)
 男 3,769人(-17)
 女 3,911人(-9)
 世帯数 3,727戸(-16)
 [2月末日住民基本台帳]

図書館では、テーマ展示「入園・入学あめでとう！」を開催中です。絵本、読みもの、手芸の本などをそろえて、ドキドキワクワクの皆さんを応援します。ご利用ください。



お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称: ぶっくるーお)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

■発行 本別町 / 〒089-3392 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 ■ホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>
 ■編集 企画振興課広報電算担当 TEL 0156-22-8121 FAX 0156-22-3237 ■印刷 本別印刷株式会社